

九州大学経営協議会議事録

日時：平成20年10月22日（水）15：30～17：15

場所：九州大学 事務局第一会議室

出席者：（略）

【挨拶】

有川総長から、挨拶があった。

【紹介】

有川総長から、10月1日付け着任の学内委員及び10月1日付けで就任した宮原副学長について紹介があった。

【前回議事録の確認】

有川総長から、前回9月25日開催の議事録について確認があり、今後、ホームページへ掲載し、学内外へ公表する旨の発言があった。

【報告】

1 「財務レポート2008」について

菅野財務部長から、「財務レポート2008」について報告があった。

その際、各委員から以下のような意見等があった。

- ・ 経済状況が悪化するなか、資金運用規模を拡大することは適当か。
 - 運用する資金規模を増加して確保する計画である。
- ・ 検収センターの設置により、事務手続きが増加したり、時間が余計にかかっている事例がある。一定額以下のものについては、手続きを簡素化すること等を検討すべき。
 - 研究費不正への対応は行う必要があるが、運用改善を図りたい。
- ・ 科学研究費補助金（科研費）獲得額が低下している原因は何か。
 - 科研費の対象機関が増加していることが要因の一つ。
 - 大口の研究費獲得が少なくなっていることも原因。
 - 本学の採択自体が伸びていないのも事実。しかし、文科省の科研費の予算額全体は微増の状態で、間接経費の導入種目を増やすために直接経費（研究費）から振り替えて措置されているために、採択課題数自体が減少しており（競争率が高くなっている）、非常に厳しい状況である。

2 キャンパス移転の現状について

今泉理事及び加納施設部長から、伊都キャンパスの整備状況とまちづくりの現状等について報告があった。

その際、各委員から以下のような意見等があった。

- ・ 六本松キャンパスの売却益は、九大の収入になるのか。
 - 六本松キャンパスを担保に民間金融機関から借入を行っており、その返済に充てることとしている。
- ・ 留学生の宿舎はどのように確保するのか。
 - 関係機関の協力も得つつ、キャンパス周辺に宿舎整備・確保を行いたいと考えている。

3 中長期的な大学教育の在り方について

玉上企画部長から、文部科学大臣による中央教育審議会への諮問「中長期的な大学教育の在り方について」等について報告があった。

【議 題】

1 役員の退職手当に係る業績評価について

有川総長から、任期満了に伴い退職した役員2名の退職手当に係る業績評価について説明があり、審議の結果、これを了承した。

【そ の 他】

1 今後6年間における九州大学への期待について

有川総長から、これからの九州大学と題し、今後の基本方針等について説明があった。

2 通勤手当の支給に関する報道について

渡邊総務部長から、国立大学における通勤手当の支給状況に係る報道及び今後の対応に関して説明があった。

(以 上)